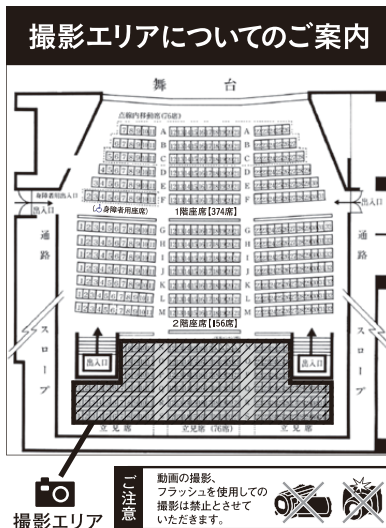


「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラ・携帯電話等での**動画撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



5月20日のタイムスケジュール

出演：吉和神楽団 (廿日市市)

19:00～開演

19:05～第一幕『天神』

(おおよそ 40分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『安達ヶ原』

(おおよそ 40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

よしわかぐらだん

吉和神楽団プロフィール ～廿日市市吉和～

昭和54年頃、吉和地域で古くから伝わっていた伝統芸能の神楽を復活させようと地域の有志や若者達が集まり神楽団が結成されました。

演目は、六調子系・旧舞の「八岐大蛇」「大江山」「塵倫」「天神」「羅生門」「安達ヶ原」、八調子系・新舞の「滝夜叉姫」など、多くの演目があり、各地域の神楽大会や、奉納神楽、イベント等の出演など幅広い活動を行っています。

また、後継者の育成に取組み、地域内外の子ども達に神楽を指導し、子ども神楽の出演も行っています。

第一幕『天神』(てんじん)

平安時代、宇多・醍醐(だいていご)天皇の代に菅原道真(みちざね)はその文才を認められ、右大臣まで上り詰め、世にも稀な出世をします。これを妬んだ左大臣・藤原時平(ときひら)は謀(はかりごと)をめぐらし、道真を落とし入れます。九州・太宰府に左遷された道真は無実を訴えますが許されず、その地で無念の死を迎えます。すると、都では天変地異が続き、大きな雷鳴がとどろいたと言います。道真は雷神となり、鬼となり果てた時平を討つという物語です。

その後、道真は北野神社に祀られ、学問の神さまとして広く親しまれ、各地に天神さんの分社が設けられました。こうした道真の話が、謡曲「雷電」や神楽「天神」となったと言われています。

【出演】	大太鼓 … 山崎 翔太	菅原道真 … 深瀬 憲司	藤原時平 … 山本 正也
	小太鼓 … 山本 博之	隨身 … 真田 健太	賊 … 小田 真也
	手打鉦 … 山崎 英治		
	笛 … 佐藤 信治		

第二幕『安達ヶ原』(あだちがはら)

平安時代中期、鳥羽上皇が玉藻前(たまものまへ)という美女を寵愛(ちょうあい)すると、体調を崩し世が乱れ始めます。これを不審に思った陰陽師・安倍泰親(あべのやすちか)が占うと、玉藻前は唐の国で悪行を重ねた末、わが国へ逃亡した金毛九尾(きんもうきゅうび)の悪狐だったのです。この悪狐は、正体を見破られると京の都から安達ヶ原へ飛び去り、再び美女に化けて旅人を襲うようになります。

那智(なち)の大法師・東光坊阿闍梨祐慶(とうこうぼうあじゃりゆうけい)は剛力を従え修行の途中、陸奥国・安達ヶ原(むつのくに・あだちがはら)にさしかかったところで日は暮れてしまい、出会った美女に一夜の宿を借りようとしますが、美女は悪狐となり襲いかかり、剛力は食い殺され、法師は辛うじて逃げ去ります。

そして、弓の名人三浦乃介・上総乃介(みうらのすけ・かずさのすけ)が悪狐退治に向かい退治する物語です。

【出演】	大太鼓 … 佐藤 信治	法 印 … 深瀬 喜行	悪狐・化身 … 山崎 翔太
	小太鼓 … 山本 博之	剛 力 … 山崎 英治	悪 狐 1 … 山本 正也
	手打鉦 … 比良 大助	三浦之介 … 田中 愛莉	悪 狐 2 … 小田 真也
	笛 … 真田 健太	上総之介 … 齋藤 拓也	

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。